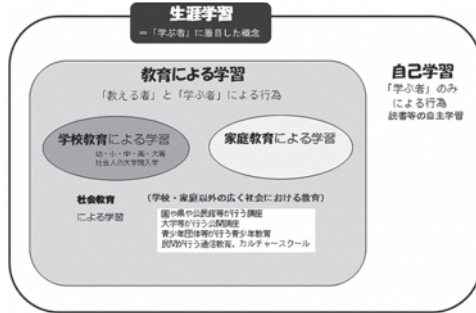


# ずばり町政を問う！



小玉博崇議員

## 社会教育の意義と果たすべき役割についてどう考えるか

### 教育長：豊かな心をはぐくみ、生涯にわたり学び続けることが重要

**問** 平成30年の中央教育審議会、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けて社会教育の振興の方策について」では、多様化、複雑化する地域課題と社会の変化に対応する社会教育の意義と果たすべき役割として、社会教育を基盤とした人づくり、つながりづくり、地域づくりの推進が重要視されている。住民が学習を通じて地域運営に主体的に関わり、自らの地域や生活をより良くするために行われる社会教育。本年新たな社会教育実施計画を策定する中で、社会教育を通じてどのような地域を目指して

いくのか、教育長の考えを伺いたい。

**答** 本町の社会教育においては、豊かな心をはぐくみ、生涯にわたり学び続けることが重要として取り組んできている。また、2年間に及びコロナ禍の生活の中で、ICTの普及により、人と人とのつながりを新たな形で広げる取り組みも検討していかねばならない。町民がまちづくりや絆づくり、趣味や教養、スポーツや交流活動など生涯を通じて時代の変化に応じた学びができるよう社会教育委員が中心となる策定委員会を設置し計画を策定する。

いくのか、教育長の考えを伺いたい。

**問** 人づくりとして、地域の学びの活動を活性化する人材の育成のために、地域の課題解決等に熱意を持って取り組む多様な人材を社会教育活動にどのように巻き込んでいくのか。

つながりづくりとして、防災教育や福祉教育、さまざまな分野で行われる社会教育に対し、官民を含めた連携や協働の取り組みをどのように行いつのか。

**答** 地域づくりとして、幅広い年代の学びの場をつくり、さまざまな方々の参加を促すなど、住民の主体的な参加をどう促進していくのか。

人づくりでは、資格等を有する方に対し、登録制度を設けており、社会教育の場で指導していただいている。つながりづくりでは、町長部局で行っているまちづくり懇談会の中で人と人とのつながりや交流もできていると感じている。また、子育て中の保護者から、町や教育に対する意見をいただく中で、人と人とのコミュニケーションも図られている。

**問** 今年秋に福祉と社会教育の拠点として改善センターがリニューアルオープンする。今後、社会福祉協議会との連携により、孤立傾向にある高齢者や障がい者なども社会教育に巻き込んでいけると期待している。

新たな改善センターを活用した社会教育の充実をどのように構想しているのか。また、社会福祉協議会との連携により、社会教育面でどのような効果を目指しているのか。

**答** 町民が優しさを享受できる施設と考える。社会福祉協議会の活動と教育委員会の活動がマッチした中で、全ての町民の皆さんが学べる、成長できる、交流できる施設となるよう検討を進めていく。具体的には、社会福祉協議会で実施しているすまいるあつぷ事業と教育委員会が企画する行事を合わせて行うことや、改善センターに来て、福祉と教育が融合した取り組みを通じて、町民の皆さんが楽しみながら、絆を深めていけるよう、社会福祉協議会、保健福祉課も含めて検討をしていきたい。

今年秋に福祉と社会教育の拠点として改善センターがリニューアルオープンする。今後、社会福祉協議会との連携により、孤立傾向にある高齢者や障がい者なども社会教育に巻き込んでいけると期待している。